

H25 基礎調査概要（案）について

1 調査の目的

今回の調査は、事業効果指標調査を実施する事前調査として洋光台エリア会議・まちづくりワークショップ等にて提案いただいた様々なキーワードが、広く地域にお住まいの方々にどのように捉えられているかを、アンケートによって確認・検証することを目的とする。

（エリアマネジメントやまち再生の事業効果把握調査については、客観・主観指標となる既往データの把握・検討も踏まえ、時間をかけて企画・検討するものとする。）

2 調査の概要（案）

調査母数：洋光台エリア（洋光台 1 ～ 6 丁目）約 9, 000 戸に全戸配布（検討中）

回収方法：町会会館、管理事務所等に回収ポストを設置、または郵送回収にて検討

謝金はなし

集計・分析：大学との連携を検討中

3 調査の構成・内容（案）

① フェイスシート

・分析の手がかりとなり、また経年的実施により客観データとして活用できるため、詳細な把握に努める。

【フェイスシート項目のイメージ】

- ・入居時期
- ・洋光台への居住歴（一旦出て戻った人）・洋光台での住み替え歴
- ・家族の属性（家族表・・・人数・年齢・職業等）
- ・住宅の面積・型式
- ・洋光台エリア会議やまちづくりワークショップに関する認知度、本人のまちづくり・地域活動等に関する関心、参加状況など

② 「洋光台のまちの特徴」を表わすキーワードの検証

・ワークショップで「まちの良さ・特徴」として挙げられた主なキーワードを設問項目として設定、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の 4 択からそれぞれに関する共感度を把握する。

【カテゴリー分けとキーワードのイメージ】

A・まちの雰囲気

：ゆったりと落ち着いている、緑が豊か、街並みが整然としている・・・

B・まちの賑わい・利便性

：駅前が賑やか、日常の買い物が便利、イベントが多く楽しい・・・

C・子育ての環境

：子育てしやすい環境、子育てしやすいコミュニティ、子連れでも歩きやすい道・・・

D・高齢者の環境

：高齢者が安心して暮らせる、日常的な声かけや見守りがある・・・

E・コミュニティ

：自治町内会などがしっかりしている、地域活動がさかん、文化的レベルが高い・・・

F・まちへの愛着

：自分にとって洋光台はふるさと、洋光台に住み続けたい、・・・

4 分析の視点など

① 町丁目ごとによる集計（単純集計）

・洋光台は 1 ～ 6 丁目それぞれで、年齢構成・住宅属性などが大きく異なる。まずは町丁目ごとの比較を通し、それぞれの特性・特徴を把握する。

② クロス集計に関して

・今後、検討をすすめる

・世代・世帯属性、住宅形式、居住年数、まちづくりへの関心等 が考えられる。

5 スケジュール（案）

・第 4 回エリア会議で報告できるよう調整中